



JTUC-aomori

No.333 2017年9月10日

れん ごう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017) 735-0551
FAX (017) 735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

政治と労働運動、相乗効果を！

2017年第2回連合青森構成組織内議員懇談会



連合青森は8月25日（金）、青森市の県労働福祉会館で「2017年第2回連合青森構成組織内議員懇談会」を開催し、連合青森センター幹事等17名と連合青森組織内議員13名が参加し、連合青森が目指す政治的課題や政策的課題等について意見交換をした。

主催者あいさつに立った連合青森内村隆志会長は「本県に於いては労働条件に限らず、地方が抱える少子高齢化問題など様々な課題が山積している。政治と労働運動、相乗効果をもたらす関係が今後ますます求められている」と述べた。また、衆議院青森4区補欠選挙について連合青森は民進党・新人の山内崇氏を推薦したことに触れ、「安倍政権がまもなく5年を迎えようとしているが、共謀罪の強行採決、加計問題など暴走政治に対し、今、国民は反発している。全国3補選で落ち込ん

でいる安倍政権にとどめを刺す意気込みで青森も闘い抜く。組織内議員の方々にもそれぞれの立場で協力いただきたい」と述べた。

続いて、2017政策要請や各議会での課題、労働基準法等改正法案の修正に関する連合の考え方、等について課題を提起し、意見交換に入った。

意見交換では、「恒常化している教員の多忙化問題」や「歯科衛生士など専門職を目指している学生への奨学金制度の充実や看護師確保の政策」、「近年の豪雨に対応できる青森の街づくり」、また各級選挙において連合青森が推薦する候補者がいない場合についての組織内議員の対応についてなど、様々な意見・要望が出された。

最後に内村会長より、組織内議員が減少傾向にあることについて「仲間や後継者を作る取り組みにも協力いただきたい」と締めくくられた。

組織内議員通信

組織内議員から組合員へ 『今・想いを伝える』

青森市議会議員 藤田まこと (出身組織：自治労)

《基本姿勢》

「働く人の代表の立場として、障害のある子を持つ親として、認知症高齢介護の経験をし、間違いなく高齢者となる年齢層として、生活保護を受けた経験者として、そして奨学金や地域の皆さんのお世話になって高等学校で学んだ経験者として、青森市民の立場になって、『青森に住んでいて良かった』と思えるような青森市にするために、議会の場で行動をしていきます」と本会議場の壇上で基本的な考えを訴えました。

現在7年目を迎ますが、基本姿勢は変わることなく、それぞれの人の立場になって議員活動するよう努めています。また、本



年3月議会での市職員の給与削減について、アウガの特別清算に伴う債権放棄に對しての市としての姿勢を示す事には異論はないものの、労働組合に事前協議もなく一方的に議会に提案したことは容認できません。今回は、最終的に労使交渉が再開でき、組合員の削減率は減少したものの、憤りを感じます。

ホームページアドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>



演

八戸市議会議員 山名 文世 (出身組織：全自交)

《現在の活動・課題点》

6月に議会改組があり、建設常任委員会、港湾・都市基盤整備推進特別委員会に所属、八戸地域広域市町村圏事務組合議会・議員を兼務し、市民の負託に応えるため精進を重ねています。近年「女性活躍推進法」が施行されたものの、育休申請で保育士の解雇や母親の介護に疲れた娘さんからの相談等を受け、社会、企業、団体等の理解が進まない現実に課題の多さを痛感しています。



《組合員へのメッセージ》

組織決定に従い行動すること。また、正義・信条を貫く精神は強大な権力にも耐えうる力となります。私は、会社との不当労働行為を巡る闘いで、組織を守れば必ず勝てるとの信念で14年間争い、最高裁で全面勝利の判決を頂く事ができました。

その教訓は「正義は必ず勝つ」との真実です。



2017平和行動 in 広島・長崎

語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和の実現を

連合は6月から9月までを「全国平和運動強化期間」と定め、平和4行動をはじめとする様々な運動を行い、戦争による惨禍が再び起ることが無いよう、恒久平和を希求するとともに戦没者の靈を慰めるために取り組んでいる。

『2017平和行動 in ヒロシマに参加して』

8月5日の連合2017ヒロシマ集会は全国2,315名の参加で～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和の実現を～求めて開催された。

初めに、被爆路面電車乗車学習会に参加した。連合広島青年・女性委員会役員の方からの今でも現役であること、被爆後3日目での再開、運転士は女学生であった等の説明に驚いた。しかし「歴史の生き証人」も老朽化により引退問題が常に注目されているという。

また広島平和記念公園でのピースウォークで印象深かったのは、「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」である。被爆した裸身の女教師が子どもを抱き、絶望的な悲しみのまなざしで空を見上げている銅像で、碑には原爆詩人正田篠枝さんの短歌が刻まれている。

『太き骨は 先生ならむ そのそばに
小さきあたまの骨あつまれり』

保育士として過ごしていた頃の子どもたちの顔がよぎる。その場にいたならわたしも同じ行

2017平和行動in広島は8月5日（土）～6日（日）、また長崎は8月8日（火）～9日（水）の日程で、全国から連合組合員など広島2,315名、長崎には2,953名もが参加した。連合青森からは広島に女性委員会の伊藤敦子幹事が派遣された。



被爆路面電車前で
連合広島青年委員の方々と

動をとっただろう。

集会では、当時5歳10ヶ月で被爆した廣中正樹さんの体験証言をいただいた。父親の背中に深く突き刺さったおびただしいガラス片、小さな手では抜くことができず、次第に弱まっていく父親の姿。あの日から72年が経過するも、声を詰まらせながらの証言に今後のわたしたちの行動が問われる責任の重大さと、核兵器による被害をみたび繰りかえさないと心に刻み、広島の地を後にした。

連合青森女性委員会幹事 伊藤敦子（自治労）

**ゆるキャラグランプリ
2017**

投票期間

8/1火 10:00 ~ 11/10金 18:00

**連合公式キャラクター
ユニオニオン
初立候補!**

1日1回

**スマホ・携帯・パソコンから
毎日投票
お願いします!**

▶投票はこちらから

ゆるキャラグランプリ ユニオニオン 検索

初回のみID登録が必要です

毎月5日は『連合の日』

連合では毎月5日を『連合の日』と設定し、組織活動の活性化をはかり運動の輪・信頼の輪を広げるべく各種取り組みを行うこととしている。

連合青森も『連合の日』について5日を中心に行宣行動を主として取り組み、連合青森として抱える課題の共有化、各産別・産業にある現状課題を県民に対し、広く訴えていくこととした。

9月の取り組みは、長時間労働・過重労働を助長しかねない『裁量労働制の対象業務拡大』や



升田世喜男衆議院議員も参加
9月連合の日。

『高度プロフェッショナル制度の創設』に反対を訴える街頭行動となった。

連合青森「推薦」決定！ 衆議院議員青森4区補欠選挙

山内 崇
候補者

(新人・民進党公認)



連合青森は8月9日、第16回執行委員会にて
『山内崇』候補者の推薦を決定した。

連合青森第16回定期大会

連合青森第16回定期大会を下記にて開催する。

【日時】2017年10月25日（水）13：00

【場所】「青森県労働福祉会館」4階大会議室
青森市本町3丁目3-11

【議題】(1) 2017年度活動報告
(2) 2017年度会計報告
(3) 2017年度会計監査報告
(4) 2018～2019年度運動方針案
(5) 2017年度一般会計収支剩余金処理案
(6) 2018年度予算案
(7) 第15期役員選出案
(8) その他

【他】(1) 連合愛のカンパ地域助成金贈呈式

2017年9月行動予定 9月10日現在

- 9月14日（木）13時30分 県労働福祉会館
「第17回執行委員会」
- 9月14日（木）上記終了後 県労働福祉会館
「第47回衆議院青森4区補選総合選対本部会議」
- 9月26日（火）15時 県労働福祉会館
「第8回組織拡大委員会」
- 9月29日（金）14時30分 県労働福祉会館
「第3回役員選考委員会」

2017年10月行動予定

- 10月6日（金）18時 県労働福祉会館
「2017連合青森カラオケ大会」

連合青森カラオケ大会

のど自慢・

パフォーマンス自慢 大募集



日 時 2017年10月6日（金）
18:00～
と こ ろ 青森県労働福祉会館
4階大会議室
エントリー 热唱部門（先着12名）
パフォーマンス
・グループ部門
（先着8組）
応募締切 9月15日（金）

- ▶ 豪華商品を多数用意しております。のど自慢・パフォーマンス自慢の皆さん、奮ってご応募ください。
- ▶ 一般審査員も同時募集（先着70名）
- ▶ 応募は各構成組織・各地協窓口から連合青森へお願いします。